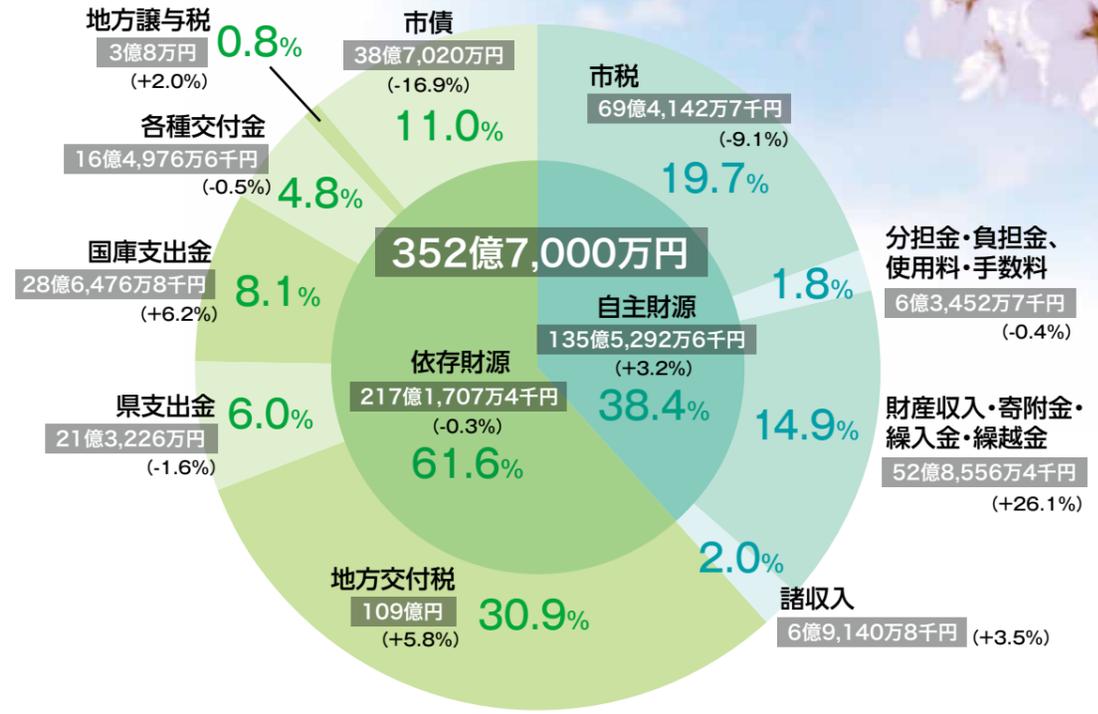


令和3年度 三豊市の予算

歳入



※()は前年度予算額との比較です

一般会計は対前年度比1.0%増の352億7,000万円

第2次総合計画の3年目となる令和3年度の予算編成は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を見極めつつ、同計画に掲げる「One MIYOTO」の実現にむけて、社会的な構造変化に的確に対応し、未来へ向けた投資を確実に進めるため、真に必要で緊急性の高い実現可能な事務事業について予算化しました。

一般会計予算総額は、前年度比3億6,000万円、率にして1.0%増の352億7,000万円となり、8年連続で300億円を超える規模(過去2番目に大きい)となっています。

なものでは市税69億4,142万7千円(前年度比▲9.1%)、地方交付税109億円(前年度比+5.8%)、地方譲与税・各種交付金19億4,984万6千円(前年度比▲0.1%)などを計上しています。

また、寄附金は、ふるさと三豊応援寄附金(ふるさと納税)などで8億5万3千円(前年度比+60%)を計上しています。

市の「貯金」である基金からの繰入金も、43億1,853万6千円(前年度比+20.6%)を計上しています。

一方、市の「借金」である市債については、病院建替えに伴う出資や宝山湖公園芝生広場の改修工事などで38億7,020万円(前年度比▲16.9%)を計上し、主に合併特例債を活用した資金調達を計画しています。

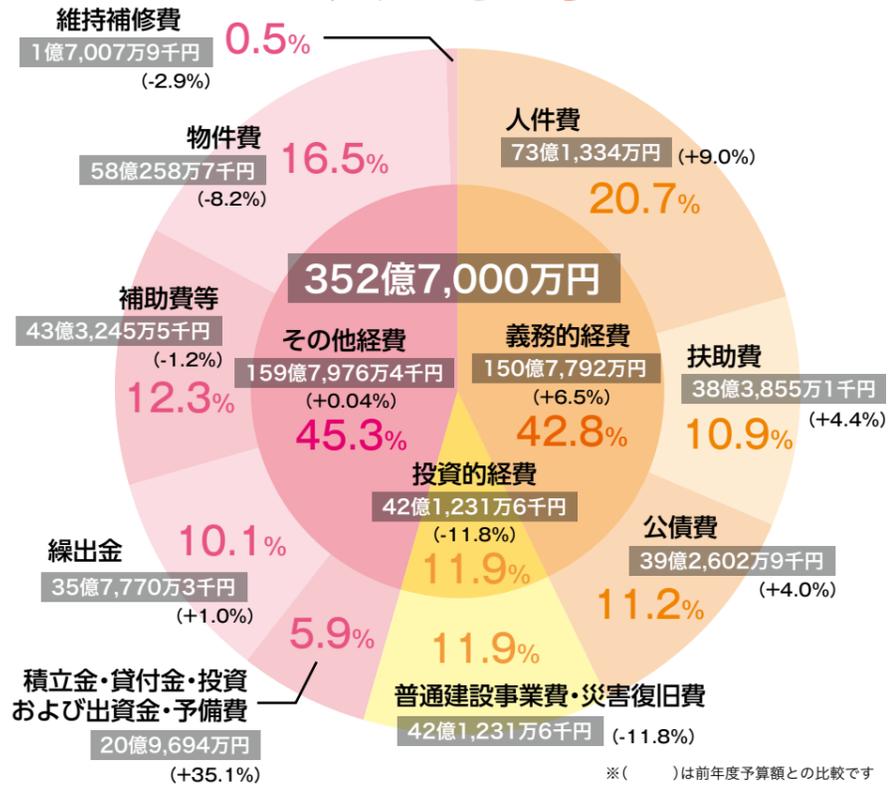
【歳入】

歳入予算のうち、使い道が決められていない一般財源として、主

【歳出】

歳出予算のうち義務的経費では、人件費は73億1,334万円

歳出



※()は前年度予算額との比較です

(前年度比+9.0%)、公債費は39億2,602万9千円(前年度比+4.0%)、扶助費は38億3,855万1千円(前年度比+4.4%)を計上しています。会計年度任用職員の制度化などにより義務的経費全体の増減は前年度比+6.5%です。

投資的経費は42億1,231万6千円(前年度比-11.8%)で、主な事業は道路橋りょうなどのインフラ整備のほか、宝山湖公園芝

生広場の改修工事や消防施設の建替え、車両の更新などです。

その他の経費は159億7,976万4千円(前年度比+0.04%)で、業務委託や公共施設の維持管理経費、補助金、特別会計や病院事業会計への繰入金などです。

▼問い合わせ
財政経営課 ☎73・3010

用語解説

歳入

自主財源：
市が自主的に収入できる財源(市税、使用料、財産収入など)

依存財源：
国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源(地方交付税、国庫支出金、県支出金など)

歳出

義務的経費：
その支出が義務づけられ、任意に節約ができない経費(人件費、扶助費、公債費)

投資的経費：
道路や施設などの整備に使う経費(普通建設事業費・災害復旧費)

その他の経費：
上記以外の経費(物件費、補助費等、繰入金など)

特別会計

会計名	単位:千円	
	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額
国民健康保険事業特別会計	8,149,000	8,457,000
国民健康保険診療所事業特別会計	155,000	156,000
後期高齢者医療事業特別会計	1,101,000	1,089,000
介護保険事業特別会計	7,856,000	8,047,000
介護サービス事業特別会計	83,000	100,000
集落排水事業特別会計	169,000	168,000
浄化槽整備推進事業特別会計	227,000	227,000
港湾整備事業特別会計	25,000	20,000
特別会計の計	17,765,000	18,264,000

企業会計

会計名	単位:千円	
	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額
病院事業会計 「永康病院・西香川病院」	5,237,423	3,389,025